

ごあいさつ



平素より農協事業全般につきまして、格別のご理解とご利用を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

この「ディスクロージャー誌」は、皆様が安心して当農協をご利用いただけますよう業務内容をまとめた情報開示誌です。是非ご一読いただき、当農協への関心とご理解を深めていただければ幸いです。

さて、令和4年度における主な事業内容ですが、農作物については、生育期間の天候は消雪日が平年より3日早い3月28日で、4月以降は平均気温が高く推移したことから桜の開花は過去2番目に早い4月14日、りんごでは平年より一週間早い5月2日となりました。6月以降は平年並みからやや高い気温で推移しましたが、8月の記録的な大雨により、りんご・園芸作物・大豆を中心に甚大な被害がもたらされました。当農協といたしましても、「令和4年8月大雨被害に係わる支援対策事業」を創設し、1,460万円ほどの助成措置を実施させていただきましたが、引き続き営農継続に向けた支援策を講じてまいる所存です。りんごは、大玉傾向で収穫量は昨年を大幅に上回ることが期待されましたが、収穫前の降雨による品質低下から入庫数量は計画対比84.4%の274万2千箱となりました。米では8月以降の天候の影響から津軽地域の作況指数は97のやや不良となり、申出数量対比97.3%の93,808俵の集荷実績となりました。やさいでは果菜類が生産量減、特に嶽きみは前年比41.4%と大幅な減収となり、特産果樹では桃の生産量は増加となりましたが、ぶどう（スチューベン）は収穫時期の長雨で前年比53.3%と大幅な減収となり、園芸作物全体では計画対比79.2%の8億9,900万円となりました。

この結果、令和4年度決算は事業総利益が30億8千万円、当期剰余金は1億6,400万円となり、剰余金は計画を4,300万円ほど上回ったものの、事業総利益では計画を1億6千万円ほど下回るなど万全の内容とはなりませんでした。総代会には剰余金処分案として、出資配当金3,100万円ほどの配当を提案させていただきましたが、ご承認を賜り厚くお礼申し上げます。

結びに、令和5年産の生産活動はすでに始まっておりますが、自然災害や農作業事故などがなく、皆様とともに喜びの出来秋を迎えられますことをご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

つがる弘前農業協同組合
代表理事組合長

天内 正博

経営理念

地域農業を守り^{はぐく}み、地域と農業のかけはしとなり
地域社会のゆたかな^{あした}未来へ貢献します。

「^{ひら}拓き」「^{あした}はぐくみ」地域の^{あした}未来へ・・・

経営方針

1. 「一人は万人のために万人は一人のために」の協同組合精神に徹し、地域農業を守り発展させるため、地域社会に信頼される農業協同組合を目指します。
2. 農業を通じた社会貢献により、地域に親しまれ愛される農業協同組合を目指します。
3. 地域と農業のよりよい「共生環境」を創造し、地域社会の豊かな^{あした}未来へむけ地域に協調した事業運営を目指します。
4. 役職員が一体となった事業運動を展開し、組合員に還元できる経営を目指します。

経営管理体制

当JAは農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選出された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

また、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

事業の概況（2022年度）

〔全般的概況〕

令和4年度の国内経済は、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する警戒とウクライナ情勢を発端とする様々な悪影響から停滞が続きました。春先は「まん延防止等重点措置」から経済活動の再開が出遅れ、夏から秋にかけては、記録的な円安の進行、資源・穀物価格の上昇が深刻となり、企業収益や家計の実質所得を圧迫することになりました。

農業・JAを取り巻く環境をみますと、令和4年度も前年に引き続き不安定な気象の影響から農作物被害が相次ぎ、特に令和4年8月の豪雨災害は、本県でも広範囲にわたって住居や道路が損壊、ライフラインが一部機能停止に陥るなど甚大な被害を及ぼしました。当JA管内においても、岩木川と平川が合流する地域を中心に田畑308.64haが泥水に浸かるなど非常に重大な被害となりました。当JAでは、被災園地清掃のため職員の派遣、およびローン等生活資金の金利引き下げと農業災害資金の提供、また、冠水被害を受けた11の集落営農組織、187名の組合員に対し農業再生産のための支援を行いました。

このような中、令和4年度各事業の総利益については、当JAの主幹事業である販売事業のりんご部門が大幅に落ち込み計画対比80.4%、金額にして約2億円超下回る結果となりました。また、やさい特産果樹部門も同じく令和4年8月の大雨による影響等により数量が減少し計画対比41.9%となりました。一方、購買事業では計画対比105.8%と伸長しましたが、外部環境による資材価格高騰が懸念されます。信用事業は費用の抑制と住宅ローンの伸長等により計画対比115.1%となりましたが、その他の貸出金の伸び悩みと低金利環境による薄利の状況が続いております。共済事業も同じく低金利環境と多様化する保険業界の変化を背景に保有契約数、付加収入は減少の一途をたどっておりますが、JAによる対面活動の強化により計画対比98.8%となりました。

依然として厳しい環境下にあり、事業総利益は低調な結果となりましたが、事業管理費の圧縮を図り、当期剰余金は計画を上回る1億6,400万円を計上することができました。

なお、農業所得の増大に関する事項ならびに組合の事業運営等に対する准組合員の意見等の反映および事業の利用に関する事項については、別添「自己改革工程表」に記載しております。

事業の概況（2022年度）

① 信用事業

【貯金】

金融業界の預貯金は依然として低金利で推移していますが、当座性貯金は、自然災害（大雨）により一部の農作物の収量が減少したものの、りんご販売代金等による貯金振込が増加したことで計画を達成しました。定期性貯金は、地方公共団体の解約等により残高が減少し計画を達成することができませんでした。

また、当JA独自商品の第5回懸賞金付き定期貯金「運だめし」および第9回特産品付き定期貯金「さと味ちゃん」の商品見直しを図り販売しました。

この結果、全体の事業量では計画対比103.7%、前年対比102.2%の実績となりました。

【貸出金】

令和4年の自然災害（大雨）による農作物の収量減少・減収に伴う、農業経営支援策として農業災害資金を発動し、37,300千円（17件）の融資を行いました。

各種ローンと農業融資については、住宅および農機具業者等への定期的な営業活動により、住宅ローンは計画を大幅に上回る1,800,360千円（計画対比120.0%、前年対比136.6%）、農業融資は数年前の経営継続補助金等を活用した機械等の更新もあり、444,450千円（計画対比55.6%、前年対比82.9%）の実績となりました。

また、昨年同様にローンのプレゼントキャンペーンを展開し計画達成を目指しましたが、全体の事業量では計画対比98.1%、前年対比102.7%の実績となりました。

② 共済事業

「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障提供に取り組み、ひと保障では医療共済「メディフル」を中心とした生命総合共済の複数提案を行い、いえ保障では建物更生共済「むてきプラス」の保障拡充に努めた結果、計画を達成しました。

また、くるま保障では「お見積りキャンペーン」「グレードアップキャンペーン」を実施し、新規契約拡大の取り組み強化や保障内容の充実を図る事業を展開しましたが、計画を下回る実績となりました。農業保障では農業者賠償責任共済や傷害共済の普及に取り組み、計画を達成しました。

長期共済・短期共済を合算した推進総合実績では、計画対比97.8%、前年対比97.3%の実績となりました。

③ 購買事業

【生産資材】

エネルギー価格の高騰や円安など様々な世界情勢の影響により、肥料・農薬をはじめとする農業用資材が値上がりするなか、低価格肥料や特別価格品目（肥料・果実袋）の取扱いを行い、安定供給と生産コスト軽減に取り組みました。この結果、購買需要が減少するなか価格の上昇もあり、生産資材の事業量では計画対比100.4%、前年対比111.1%の実績となりました。

【生活資材】

7月から信用店舗再編により、新たに経済店として他店との差別化を図った生活用品主体の商品陳列を行い事業伸長に努めましたが、物価高騰による消費の落ち込みなどから、食料品・米の取扱高は減少しました。また、葬祭事業についても家族葬等が主流となり、前年を下回る取扱高となりました。この結果、生活資材の事業量では計画対比81.4%、前年対比97.4%の実績となりました。

【車輛・燃料】

農機・車輛については、世界的な半導体の供給不足の影響により受注から納期まで1年以上かかる状況となり販売が伸び悩み、農機具では計画対比71.3%、自動車では74.4%と計画を下回る結果となりました。

燃料については、新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛や、ロシアのウクライナ侵攻による原油高が影響したことと、管内ガソリンスタンドとの価格競争が激しく利用量が減少したことから、計画対比90.4%の実績となりました。

LPGガスについては、一人暮らし高齢者の施設への入居やIH家電への切り替えによる利用者の減少と、毎月の使用量減少により、計画対比95.2%の実績となりました。

この結果、車輛・燃料全体の事業量では計画対比88.8%、前年対比96.2%の実績となりました。

④ 販売事業

【りんご】

令和4年産りんごは、開花期間中の低温、強風、乾燥により地域や園地によっては、中心果の欠落などが見られたものの、結実量は総じて確保されました。

事業の概況（2022年度）

果実肥大は、開花が平年より早かったことから、いずれの品種も平年より上回りましたが、8月の記録的な大雨によるりんご園地の樹冠浸水や病害などの影響もあり、生産量が減少し最終在庫数量は274万2千箱で計画対比84.4%となりました。

販売については、早生種は他県産が着色遅れや選果遅れ等で出荷がずれ込み、序盤は各産地が競合し、流通量が多く荷動きが鈍い状況となりましたが、9月中旬以降は他県産がおおむね切り上がったことなどにより、荷動きが回復し堅調な販売となりました。中生種も他県産が早生種と同様に出荷遅れとなったため、青森県産主体の販売となり、おおむね順調な販売となりました。トキの台湾・香港を中心とした輸出についても安定的な出荷となり、前年対比123.6%となりました。サンふじは例年通り11月中旬から販売を開始し、序盤は贈答需要と春節向けの輸出主体の出荷となり引き合いも強く、高値での取引となりました。年明け後は、ツル割れ果等の下位等級品を消費宣伝と連動した企画販売へ積極的に取り組み、売場の拡大に努めました。海外輸出は、全般的にアメリカ産の減少や円安の影響から引き合いが強い状況であったため、台湾・香港を中心に積極的に出荷し、3月末出荷実績で前年対比107.8%となりました。

総体では、ツル割れ果等の下位等級品比率が高い内容でありましたが、早めの商談により売場の確保に努めたことで、順調な出荷・販売となりました。

【米】

令和4年産米は、6月中旬から7月中旬にかけて高温多照傾向で推移したため、分けつが促され順調に生育したものの、出穂期以降は日照時間が少なく、大雨にも見舞われたことなどから、登熟（籾の肥大や充実）が平年を下回る圃場が散見され、津軽地域の作況指数は「97」のやや不良となりました。

この結果、申出数量96,401俵に対し、集荷数量は93,808俵となり、申出対比97.3%の実績となりました。

【やさい・特産果樹・花き・花木】

令和4年産は消雪が早まり、消雪後も気温が高めに推移したことから初期生育はおおむね順調に推移しました。

やさいについては、7月は曇天が続き、8月には豪雨の影響により冠水した園地が見られたほか、日照不足の影響から果菜類については花落ちが見られました。

その後、天候は回復したものの、引き続き水害等の影響が長引き、全般的に数量が少ない状態となりました。

販売面では、新型コロナウイルス感染症の長期化と感染再拡大を受けて、消費者の外出離れが進んだことによる業務需要の回復が見られないなか、8月の豪雨の影響により数量の減少に加え品質低下が見られ、不足感から単価高で推移しました。

特産果樹については、開花期の低温により一部品目は平年よりも少ない状況となりました。果実肥大は順調に推移しましたが、ぶどうについては雨が多かったことから品質低下となり収穫量の減少となりました。

桃や洋なし等の販売では、他県産の出荷量が全体的に多かったことから、販売価格は前年を下回る結果となりました。

園芸作物全体の出荷量は前年実績を下回り、一部品目において単価高はあったものの、販売金額実績は計画対比79.2%、前年対比85.9%となりました。

⑤ 直販事業

令和4年産りんごの販売は、主要取引先扱いのギフト企画を中心に、県外提携JA、ダイレクトメールなど販売の強化に取り組んだ結果、新規の取引先を確保できたものの、事業量は計画対比で78.0%となりました。

独自米の販売は、生協をはじめ介護施設や宿泊施設等、年間を通して販売しました。4年産米の価格は3年産米に比べ上昇しましたが、コロナ禍での需要減少の影響もあり、事業量は計画対比で88.2%となりました。

オリジナルりんごジュースの販売においてもコロナ禍の影響で、主要取引先をはじめ、葬儀施設や宿泊施設、飲食店や提携JA等への販売数量が減少し事業量は計画対比で76.8%となりました。

加工品では、昨年に続き弘前実業高校の生徒へ地元食材の原料を提供し、新しいオリジナル商品の開発に取り組みましたが、商品化にはなりませんでした。

直売所では、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、各店舗イベントや時節の特売セールを開催し、お客様とのふれあいの機会を作りました。また、11・12月には「臨時りんご直売コーナー」を設置し、贈答用りんごの販売強化に取り組みました。

地域交流イベントとしての「つがる弘前軽トラ市」は、8・9・10月の3回開催し、直売所のPRや地場産農産物の販売、市内飲食店や福祉施設の出店があり、多くの来場者で賑わいました。

この結果、直販事業全体では計画対比79.1%、前年対比98.6%の実績となりました。

事業の概況（2022年度）

⑥ 指導事業

【営農指導】

りんごでは、生理に則した栽培管理を基本とし、品種・形態別重点項目に則したセミナーや山選果説明会の開催により、高品質・安定生産に努めました。また、気象変動や気象災害に対応した情報発信や病害虫発生予察の実施による適期防除を徹底しました。

米穀では、収量確保と高品質米の安定生産を図るため、気象経過と生育状況に応じたセミナーの開催や、圃場巡回を実施したほか、気温観測器「おんどとり」を活用した適期刈り取り指導を徹底しました。また、フェロモントラップを利用した斑点米カメムシの発生予察を基に、航空防除による広域一斉防除に努めました。

園芸作物では、生育前半の高温と夏場の集中降雨等の気象に対応した現地指導に加え、新規作付者や品目に応じた現地セミナーを地区横断的に開催しました。また、生産拡大へ向けた取り組みでは、一連の作業受託事業や新規就農者支援の実施によりピーマン、ミニトマト、にんにく、桃等の主要品目の作付け拡大に努めました。

なお、令和4年8月の大雨被害に対し、りんご・特産果樹では病害虫防除支援、やさいでは病害虫防除支援、やさい苗購入支援、大豆では集落営農組合を対象に大豆種子購入支援の各種支援対策事業を実施しました。

農政関連では、事業復活支援金の登録確認機関として22件の事前確認の受付を行い、また肥料価格高騰対策事業の取組実施者として秋肥分102件の申請手続きを行いました。集落営農組織に対しては「水田活用の直接支払交付金」の交付要件厳格化を受け、集落営農組織連絡協議会で全体研修や行政との意見交換会を開催しました。

労働力確保対策では、無料職業紹介事業において21件のマッチングが成立したほか、農業バイトアプリの周知により延べ789件のマッチングが成立しました。このほか援農ボランティアの受入や農福連携の取り組みも行いました。

新規就農者支援対策では、就農希望者に対して随時相談に応じたほか、令和5年春の新規就農希望者相談窓口開設に向けた準備を行いました。

経営支援対策として、農業簿記記帳代行サービスの利用者は325名で、うち2名の方が白色申告から青色申告へ申告方法を変更しました。また、延べ229名の利用者と6月・12月に個別面談を行い、決算に向けた情報共有を図りました。

【生活指導】

組合員や地域の皆様が元気ですこやかな毎日を送っていただくために、「JA健康寿命100歳プロジェクト」を立ち上げ、行政や医療機関と連携を図り、人間ドックや血液検査、20代・30代、後期高齢者や社会保険の方を対象とした健診を実施しました。

また、地域限定ではあったものの、今年度はじめて「ウォーキング教室」を実施し、組合員の健康増進に努めました。

管内7つの小学校と1つの児童館の子どもたちを対象とした食農教育「農業塾」では、農業体験や調理実習を通して、地域農業の役割や「農」と「食」のつながりを学んでもらいました。

高齢者福祉活動は、コロナ禍ではありましたが、ミニデイサービス「ぬくもりホーム」を年4回（3会場×4回）開催しました。

組織再編を行い本部1本となった女性部は、組織の維持を念頭に、新規部員の加入促進や部員の交流を図る活動をはじめ、SDGs(持続可能な開発目標)に関連した取り組みとして、農協とともに、野菜や米、食品などの集荷を行ったほか、「子ども食堂」を東地区ちいきの絆食堂と共催し、弁当の配布や餅つき大会を行いました。

【組織・広報活動】

組合員向け広報誌「いぶき」では、食品ロスや食料自給率など食に関する特集を数回に分けて掲載し、組合員の皆様へ食や生活に役立つ情報の提供を行いました。一般向けの地域コミュニティ誌「JA Apple-ジャップルー」では、地域住民に幅広く利用・参加してもらうため、やさい育苗センターで行っている取り組みや、本店に開設したローンプラザを紹介するなど、当JAの事業や役割を広く周知しました。インターネット交流サイト「フェイスブック」「インスタグラム」では、各部会や組織活動、イベントなど幅広く取材し、随時最新情報の発信に努めました。

新規就農者や農業後継者の育成を目的に開催している農業後継者研修は、第7期生17名が2年間の研修を修了しました。

青年部では「健康プロジェクト」の一環として、部員の健康診断と保健師による保健指導を継続して行ったほか、全体学習会では、測定から健康指導までその日に受けられるQOL健診（啓発型健診）を開催し、健康意識の向上を図りました。また、3年ぶりに開催した「市長車座ミーティング」では、弘前市長と農業や農政について意見交換するなど、コロナ禍で制限していた活動を再開していきました。

事業活動トピックス

| 日付 | 開催場所 | 内容 |
|----------|---------|--------------------------------|
| R4.07.07 | 四季彩館 | 七夕セール（～10日） |
| R4.07.16 | かあさんの店 | 感謝祭 |
| R4.07.17 | ひろさき新鮮組 | まいどサマーセール（～18日） |
| R4.07.24 | ふじの里 | 感謝祭 |
| R4.08.11 | 各直売所 | お盆セール（～13日） |
| R4.08.23 | 本店 | 年金無料相談会 |
| R4.09.20 | 各直売所 | 秋彼岸セール（～23日） |
| R4.10.12 | 経済店 | 金融・共済相談会（十腰内・船沢・弘前・和徳・薬師堂・碓ヶ関） |
| R4.11.09 | 経済店 | 金融・共済相談会（十腰内・船沢・弘前・和徳・薬師堂・碓ヶ関） |
| R4.12.14 | 経済店 | 金融・共済相談会（十腰内・船沢・弘前・和徳・薬師堂・碓ヶ関） |
| R4.12.28 | 各直売所 | お正月準備市（～30日） |
| R5.01.11 | 経済店 | 金融・共済相談会（十腰内・船沢・弘前・和徳・薬師堂・碓ヶ関） |
| R5.02.08 | 経済店 | 金融・共済相談会（十腰内・船沢・弘前・和徳・薬師堂・碓ヶ関） |
| R5.02.15 | 本店 | 年金無料相談会 |
| R5.03.08 | 経済店 | 金融・共済相談会（十腰内・船沢・弘前・和徳・薬師堂・碓ヶ関） |
| R5.03.18 | 各直売所 | 春彼岸セール（～21日） |

農業振興活動

| 日付 | 内容 | 日付 | 内容 |
|----------|-------------------|----------|---------------------------|
| R4.04.19 | アスパラガスセミナーおよび目揃会 | R4.07.26 | にんにく目揃会 |
| R4.06.09 | ピーマン目揃会（～10日） | R4.08.26 | りんご（早生種）の山選果基準説明会 |
| R4.06.10 | さくらんぼ目揃会 | R4.09.01 | プルーン目揃会 |
| R4.06.14 | シャインマスカット栽培研修会 | R4.09.15 | ぶどう山選果基準説明会 |
| R4.06.16 | トマト部会目揃会およびセミナー | R4.09.22 | りんご（中生種前期）の山選果基準説明会 |
| R4.06.17 | ジュノハート適期収穫・目揃い研修会 | R4.09.26 | ラ・フランス山選果基準説明会 |
| R4.06.20 | ミニトマト部会目揃会およびセミナー | R4.10.05 | りんご（ジョナゴールド）の山選果基準説明会 |
| R4.07.06 | きゅうり目揃会（～7日） | R4.10.19 | りんご（晩生種）の山選果基準説明会 |
| R4.07.19 | りんどうセミナーおよび目揃会 | R5.01.25 | プルーン部会剪定会 |
| R4.07.19 | 枝豆目揃会 | R5.03.03 | 中南地域シャインマスカット・もも生産販売情報交換会 |
| R4.07.21 | 桃山選果基準説明会 | R5.03.15 | 営農指導担当者りんご剪定講習会 |

地域貢献情報

- 農業体験「キッズあぐりスクール」の開催
- 小学校等を対象とした農業体験の実施
- 農業後継者育成研修会の実施
- 高齢者福祉活動「ぬくもりホーム」による各種イベントの実施
- 「高齢者等地域見守り活動」の実施
- 「つがる弘前軽トラ市」の実施
- 食農教育をすすめる子ども雑誌「ちゃぐりん」の贈呈

リスク管理の状況

● リスク管理体制

1. リスク管理の方針

組合員・利用者の皆さまに安心してJAをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。

このため、有効な内部管理態勢を構築し、直面する様々なリスクに適切に対応すべく「リスク管理基本方針」を策定し、認識すべきリスクの種類や管理体制と仕組みなど、リスク管理の基本的な体系を整備しています。

この基本方針に基づき、収益とリスクの適切な管理、適切な資産自己査定の実施などを通じてリスク管理体制の充実・強化に努めています。

また、昨今の国際情勢をふまえ、マネー・ローダリングおよびテロ資金供与等の金融サービスの濫用防止対策（マネロン等対策）の重要性はこれまでになく高まっています。当JAではマネロン等対策を重要課題の1つとして位置付け、リスクに応じた対策を適切に講じています。

① 信用リスク管理

貸出金や利息などの債権が回収不能となり被る損失である信用リスクは、貸出資産の健全性を維持するため専門部署であるリスク審査課を設置して審査体制の強化に努めております。

② 市場リスク管理

資産（貸出金・有価証券）・負債（貯金）双方の金利変動に伴い被る損失である金利リスクは、余裕金運用会議（ALM委員会）において、運用、調達にかかるリスク管理に取り組み、健全な資産・負債のバランス向上に努めております。

③ 事務リスク管理

事務上のミスや不正により被る損失である事務リスクは、内部牽制組織として監査部門を設置しており支店での事務指導や定期的な監査を実施しております。

また、事務の見直しや規程整備などを通してリスクの管理・強化に努めております。

④ システムリスク管理

当JAにおける基幹業務勘定系システムは、経済管理系システム・信用システムを県農協電算センター、共済システムを全共連へ委託し運営しております。従いまして、これらに係るシステムのダウン又は誤作動等により被るリスクについては、委託先の指示に基づいた対策により対応しております。

2. 審査体制

融資の取扱いについては、各支店窓口での受付から最終決定者まで稟議手続により判断する体制を採っております。事前審査を十分に行うとともに担保の徴求、保全、回収については、常に本店と支店が連携をはかりながら問題債権の早期解消等について、対策を講じております。

また、リスク審査課では、審査体制の強化と窓口の審査能力向上に努めております。

3. ALM管理体制

資金調達面と運用面を総合的に管理するため、余裕金運用会議（ALM委員会）を定期的開催し、金融情勢、金利、経済環境や資金動向の予測をもとに金利変動リスク等を回避するためのALM手法の充実とリスクヘッジ手法の活用により、財務の健全性維持と安定的収益確保に努めております。

● 法令遵守体制

1. コンプライアンス基本方針

利用者保護への社会的要請が高まっており、また最近の企業不祥事に対する社会の厳しい批判に鑑みれば組合員・利用者からの信頼を得るためには、法令等を遵守し、透明性の高い経営を行うことがますます重要になっています。

このため、コンプライアンス（法令等遵守）を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、この徹底こそが不祥事を未然に防止し、ひいては組織の信頼性向上に繋がるとの観点にたち、コンプライアンスを重視した経営に取り組みます。

◇ コンプライアンス運営態勢 ◇

コンプライアンス態勢全般にかかる検討・審議を行うため、代表理事組合長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンスの推進を行うため、各部署及び各支店にコンプライアンス担当者を設置しています。

基本姿勢及び遵守すべき事項を記載した手引書「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、研修会を行い全役職員に徹底しています。

毎年度、コンプライアンス・プログラムを策定し、実効ある推進に努めるとともに、統括部署を設置し、その進捗管理を行っています。

リスク管理の状況

● 金融ADR制度への対応

1. 苦情処理措置の内容

当JAでは、苦情処理措置として、業務運営体制・内部規則等を整備のうえ、その内容をホームページ・チラシ等で公表するとともに、JAバンク相談所やJA共済連とも連携し、迅速かつ適切な対応に努め、苦情等の解決を図ります。

当JAの信用事業に関する苦情相談窓口は、最寄りの各支店または
信用部金融課(電話：0172-28-1121) 午前9時～午後4時(金融機関の休業日を除く)
共済事業に関する苦情相談窓口は、最寄りの各支店または
共済部共済課(電話：0172-28-1120) 午前9時～午後4時
(土日祝日および12月31日～1月3日を除く)

2. 紛争解決措置の内容

当JAでは、紛争解決措置として、次の外部機関を利用しています。

①信用事業

- ・東京弁護士会紛争解決センター(電話：03-3581-0031) 午前9時30分～午後3時(土日祝日を除く)
- ・第一東京弁護士会仲裁センター(電話：03-3595-8588) 午前10時～午後4時(土日祝日を除く)
- ・第二東京弁護士会仲裁センター(電話：03-3581-2249) 午前9時30分～午後5時(土日祝日を除く)
- ・仙台弁護士会 紛争解決支援センター

1. の相談窓口またはJAバンク相談所((一社) JAバンク・JFマリンバンク相談所、電話：03-6837-1359)にお申し出ください。

②共済事業

- ・(一社)日本共済協会 共済相談所
(電話：03-5368-5757, <https://www.jcia.or.jp/advisory/index.html>)
- ・(一財)自賠責保険・共済紛争処理機構(<https://www.jibai-adr.or.jp/>)
- ・(公財)日弁連交通事故相談センター (<https://n-tacc.or.jp/>)
- ・(公財)交通事故紛争処理センター (<https://www.jcstad.or.jp/>)
- ・日本弁護士連合会 弁護士費用保険ADR
(<https://www.nichibenren.or.jp/activity/resolution/lac.html>)

各機関の連絡先(住所・電話番号)につきましては、上記ホームページをご覧ください。1. の相談窓口またはJA共済相談受付センター(電話：0120-536-093)にお申し出ください。

● 内部監査体制

当JAでは、内部監査部門を被監査部門から独立して設置し、経営全般にわたる管理および各部門の業務の遂行状況を、内部管理態勢の適切性と有効性の観点から検証・評価し、改善事項の勧告などを通じて業務運営の適切性の維持・改善に努めています。

また、内部監査は、JAの本店・支店のすべてを対象とし、中期及び年度の内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は、代表理事組合長及び監事に報告したのち被監査部門に通知され、定期的に被監査部門の改善取り組み状況をフォローアップしています。

また、監査結果の概要を定期的に理事会に報告することとしていますが、特に重要な事項については、直ちに理事会、代表理事組合長、監事に報告し、速やかに適切な措置を講じています。

自己資本の状況

● 自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、2023年3月末における自己資本比率は、14.09%となりました。

● 経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は組合員の普通出資によっています。

○普通出資による資本調達額

| 項目 | 内容 |
|-------------------|-----------------------|
| 発行主体 | つがる弘前農業協同組合 |
| 資本調達手段の種類 | 普通出資 |
| コア資本に係る基礎項目に参入した額 | 4,415百万円(前年度4,513百万円) |

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

主な事業の内容

● 主な事業の内容

(信用事業)

信用事業は、貯金、貸出、為替などいわゆる銀行業務を行っています。

この信用事業は、J A・農林中金という2つの組織が有機的に結びつき、「J Aバンク」として大きな力を発揮しています。

◇ 貯金業務 ◇

組合員の方はもちろん、地域住民の皆様や事業主の皆様からの貯金をお預かりしています。普通貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいています。

また、公共料金、都道府県税、市町村税、各種料金のお支払い、年金のお受け取り、給与振込等もご利用いただけます。

【主な貯金商品一覧】

| 商品名 | 特 色 | 預 入 期 間 |
|----------|---|---|
| 普通貯金 | いつでも、お預入れ・お引き出しが自由な商品です。また、各種公共料金等の自動支払、給与・年金のお受取り口座としての機能を備えると、毎日の暮らしの「お財布がわり」としてご利用いただけます。 | 出し入れ自由 |
| 貯蓄貯金 | お手持ちの資金を有利に増やししながら、必要な時にいつでも引き出せる貯金です。残高に応じた金利が適用されますので有利さと便利さを兼ね備えた商品です。 | 出し入れ自由 |
| 通知貯金 | まとまった資金の短期のご利用に便利な貯金です。 | 7日以上 |
| 総合口座 | 普通貯金の全ての機能を備えているのに加え、定期貯金をセットすることで、定期貯金合計額の90%（最高500万円）まで自由融資も可能となりご利用になれます。 | 出し入れ自由 |
| 定期積金 | 毎月または2ヵ月毎に一定額を積み立てすることにより、生活設計に合わせた無理のない資金づくりができます。 | 6ヵ月以上60ヵ月以下・120ヵ月 |
| 期日指定定期貯金 | 便利さを備えた定期貯金です。期間は1年間据え置き後最長3年で、1年ごとの複利計算となります。1ヵ月以上前の連絡により、自由に元金の全部または一部の満期日の指定が可能です。 | 1年以上3年までの間で、1ヵ月以上前の連絡により自由に満期日の指定ができます。 |
| スーパー定期貯金 | ボーナスや分散されている貯金などをまとめてお預け入れするのに便利な商品です。お預けいただく金額および期間に応じてよりおトクな金利となります。3年以上お預けの個人の場合、複利型がご利用できます。 | 1ヵ月以上10年までで満期日指定が可能です。 |
| 大口定期貯金 | 1,000万円以上のまとまった資金の運用に適した定期貯金です。法人および団体でのご利用はこちらでお預かりいたします。金利はお預けいただいた時点の金利情勢で決定され、満期まで変わりませんので安心です。 | 1ヵ月以上10年までで満期日指定が可能です。 |

主な事業の内容

◇ 貸出業務 ◇

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆様の生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域の皆様の暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業等、農業以外の事業へも必要な資金を融資し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のために貢献しています。

さらに、個人向けローンも取り扱っております。

【主な貸出金商品一覧（農業関連向けご融資）】

| 資金の種類 | お使いみちなど | ご融資金額 | ご融資期間 |
|------------|---|--------------------------------------|---------------|
| アグリマイティー資金 | 農業生産、農産物の加工・流通・販売等に関する設備資金や運転資金にご利用いただけます。 | 必要額以内 | 原則 10年以内 |
| 農機ハウスローン | 農機具のご購入、修理費用など、および他金融機関の農機具ローンのお借換え、パイプハウス等資材、建設費用などにご利用いただけます。 | 1,800万円以内 | 1年以上 10年以内 |
| 農業近代化資金 | 設備資金から運転資金まで様々な資金使途に利用できる長期・低金利の制度資金です。 | 個人：1,800万円以内 法人・集落営農組織等： 2億円以内 | 原則 15年以内 |
| 制度融資 | 農業経営改善促進資金など、各種制度資金をお取り扱いしております。 | | |
| 受託貸付 | 日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫や就農資金）の各種資金をお取り扱いしております。 | | |

【主な貸出金商品一覧（個人向けご融資）】

| 資金の種類 | お使いみちなど | ご融資金額 | ご融資期間 |
|------------|--|----------------------------|-------------------------|
| 住宅ローン | 住宅の購入資金（土地のみの購入も含む）・新築・増改築・中古住宅の購入および既にお借入の住宅資金の借換えなどにご利用いただけます。 | 10万円以上 1億円以内 | 3年以上 40年以内 |
| リフォームローン | 既存住宅の増改築・改装・補修等、およびその他住宅に付帯する施設などの住宅関連設備資金としてご利用いただけます。 | 10万円以上 1,500万円以内 | 1年以上 20年以内 |
| 農泊ローン | 所有している既存住宅を農泊事業に使用するための増改築・改装・補修や農泊施設の新築・増改築・改装・補修および関連設備等の設置などにご利用いただけます。 | 10万円以上 5,000万円以内 | 1年以上 30年以内 |
| 多目的・フリーローン | 使いみちはご自由です。 ただし、負債整理資金などは除きます。 | 1万円以上 500万円以内 | 6ヵ月以上 10年以内 |
| マイカーローン | 自動車・バイク購入（中古を含む。）点検・修理・車検、購入に付帯する諸費用、共済掛金に必要な資金としてご利用いただけます。 | 1万円以上 1,000万円以内 | 6ヵ月以上 10年以内 |
| 教育ローン | 就学(予定)子弟の入学金・授業料・学費および下宿代など教育に関する資金としてご利用いただけます。 | 1万円以上 1,000万円以内 | 最長 16年10ヵ月の 範囲内 |
| カードローン | 限度額の範囲内で自由にお使いいただけます。 | 極度額 500万円以内 (10万円単位) | 原則として、 審査のうえ 自動更新 |

主な事業の内容

◇ 為替業務 ◇

全国のJ A・信連・農林中金の店舗をはじめ、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網で結び、当J Aの窓口を通して全国どこの金融機関でも振込や送金、手形・小切手等の取立が安全で確実かつ迅速にできます。

◇ その他の業務およびサービス ◇

当J Aでは、コンピュータ・オンラインシステムを利用して、各種自動受取・支払や事業主の皆様のための給与振込サービス、自動集金サービスなどを取り扱っています。

また、国債（新窓販国債、個人向け国債）や個人型確定拠出年金 i D e C o（みずほプラン）の窓口販売の取り扱い、多くの金融機関でご利用いただけるキャッシュサービスなどいろいろ取り揃えております。

さらにJ Aカード会員になりますと、カードショッピング・キャッシングなど多機能にわたってのサービスをご利用いただけます。

【各種サービスの内容】

| 種 類 | サービス内容や特徴 |
|----------------------------|---|
| 内国為替サービス | 全国どこの金融機関でも、お振込、ご送金、お取立を行っております。 |
| J Aキャッシュサービス | キャッシュカードがあれば、全国のJ A・信連・農林中金・銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫・ゆうちょ銀行・セブン銀行・コンビニ（ローソン、セブンイレブン、イーネット）ATM（現金自動預払機）で現金のお引出しと残高照会がご利用いただけます。また、全国のJ A・信連・農林中金・ゆうちょ銀行・セブン銀行、コンビニ（ローソン、セブンイレブン、イーネット）では現金のお預入れもご利用いただけます。さらに県内J AのATMではお引出し、お預入れとも通帳によるお取扱が可能となっております。 |
| 給与振込サービス | 給与・ボーナスがおお客様のご指定いただいた貯金口座に自動的に振り込まれます。余分な現金を持ち歩かずにすみ、振り込まれたご資金は必要な時にお引き出しいただけます。 |
| 各種自動受取サービス | 各種年金、配当金などがお客様の口座に自動的に振り込まれます。その都度お受取りに出向く手間や、期日忘れや紛失なども防げ安心です。 |
| 各種自動支払サービス | 電気・電話・水道料・NHK受信料等の公共料金のほか、高校授業料、各種クレジット代金など普通貯金（総合口座）から自動的にお支払い致しますので、支払い忘れや支払いの煩わしさがなくなります。 |
| クレジットカードサービス（J Aカード） | J Aカードはライフシーンに合わせて選べ、ICチップを搭載したより安全なクレジットカードです。V I S A・N I C O S・Masterマークのあるお店ならお買い物、ご旅行、お食事などお客様のサインや暗証番号ひとつでご利用いただけます。24時間年中無休のロードアシスタンスサービス付カードやE T Cカードもお取扱しています。J Aならではの特典や各種サービスを満載しており、三菱UF Jニコス㈱との提携により三菱UF Jニコス㈱の提供する各種サービスも受けられます。 |
| 口座振替サービス | 収納企業（委託者）に代わり、口座振替により集金業務を行っております。 |
| A T M振込サービス | A T Mを利用して全国どこの金融機関でも振り込みできるサービスです。振込依頼書に記入する手間も省け、手数料も窓口扱いより割安となっております大変便利です。 |
| A T M定期預入サービス | A T Mを利用して総合口座定期貯金は1件目から、通帳式定期貯金および積立式定期貯金は2件目からの預入ができるサービスです。 |
| J Aバンクアプリ J Aネットバンクサービス | 全国どこからでもインターネットに接続可能なパソコン・携帯電話等を使い曜日に関わらずいつでも残高照会、入出金明細照会、振込・振替予約、定期貯金、ローン繰り上げ返済などができるサービスです。窓口へ出向く手間も省け、手数料も窓口扱いより割安となっております大変便利です。 |

主な事業の内容

◎ A T M利用手数料

【当 J A のキャッシュカードまたは通帳をご利用する場合】

| 金融機関名 | 取引区分 | 平日 | | | 土曜日 | | | 日曜・祝日・年末 |
|----------------------|------------------|-----------|------------|-------------|-----------|------------|-------------|------------|
| | | 8:00～8:45 | 8:46～18:00 | 18:01～21:00 | 8:00～9:00 | 9:01～14:00 | 14:01～21:00 | 8:00～21:00 |
| J A (県内・県外)、信連 A T M | 入出金 | 無料 | | | 無料 | | | 無料 |
| その他金融機関の提携 A T M | J F マリンバンク | 無料 | | | 無料 | | | 無料 |
| | 青森銀行 | 無料 | | 110 円 | 110 円 | | | 110 円 |
| | 三菱東京 U F J 銀行 | 110 円 | 無料 | 110 円 | 110 円 | | | 110 円 |
| | ゆうちょ銀行 | 220 円 | | | 220 円 | | | 220 円 |
| | セブン銀行 | 220 円 | | | 220 円 | | | 220 円 |
| | イーネット・ローソン A T M | 220 円 | | | 220 円 | | | 220 円 |
| | 上記以外の提携金融機関 | 110 円 | | 220 円 | 220 円 | | | 220 円 |
| キャッシング提携会社 | キャッシング | 無料 | | 110 円 | 110 円 | | 110 円 | |

- (注) 1. 上記金額には消費税を含みます。
 2. 祝日には振替休日・国民の休日を含みます。また、1月2日・3日および祝日が土曜日と重なる場合については、日曜日・祝日のご利用手数料となります。
 3. J F マリンバンクについては、1月1日～3日、5月3日～5日が終日お取扱いできません。
 4. 稼働時間は A T M により異なります。また、A T M 稼働時間であっても J A バンクのキャッシュカードによるお取引ができない場合およびご利用の金融機関により手数料が異なる場合があります。詳しくはお近くの J A またはご利用 A T M の掲示等でご確認ください。
 5. イーネット A T M はファミリーマート・スリーエフ・ポプラ等のコンビニエンスストアに設置されています。
 6. ローソンに設置されているローソン A T M 以外の A T M はサービス内容が異なる場合があります。詳しくはご利用 A T M の掲示等でご確認ください。
 7. コンビニエンスストア等の一部の店舗において、A T M が設置されていない場合、金融機関が直接 A T M を設置している場合、他 A T M 運営会社の A T M が設置されている場合等があります。「イーネット A T M マーク」「ローソン A T M マーク」をご確認のうえ、ご利用ください。

主な事業の内容

【その他金融機関のキャッシュカードで、当JAのATMをご利用する場合】

| 金融機関名 | 取引区分 | 平日 | | | 土曜日 | | | 日曜・祝日 | 年末 |
|--------------------------|-------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
| | | 8:00～ 8:45 | 8:46～ 18:00 | 18:01～ 21:00 | 8:00～ 9:00 | 9:01～ 14:00 | 14:01～ 21:00 | 8:00～ 21:00 | 8:00～ 21:00 |
| JA（県内・県外）、 信連キャッシュカード | 入出金 | 無料 | | | 無料 | | | 無料 | 無料 |
| その他金融機関の キャッシュカード | JFマリンバンク | 無料 | | | 無料 | | | 無料 | 無料 |
| | 青森銀行 | 無料 | | 110円 | 110円 | | | 110円 | 110円 |
| | 三菱東京UFJ銀行 | 110円 | 無料 | 110円 | 110円 | | | 110円 | 110円 |
| | ゆうちょ銀行 | 220円 | 110円 | 220円 | 220円 | 110円 | 220円 | 220円 | 曜日より変動 |
| | 上記以外の提携金融機関 | 110円 | | 220円 | 220円 | | | 220円 | 220円 |
| | キャッシング提携会社 | キャッシング | 無料 | | 110円 | 110円 | | | 110円 |

- (注) 1. 上記金額には消費税を含みます。
 2. 祝日には振替休日・国民の休日を含みます。また、1月2日・3日および祝日が土曜日と重なる場合については、日曜日・祝日のご利用手数料となります。
 3. JFマリンバンクについては、1月1日～3日、5月3日～5日が終日お取扱いできません。
 4. セブン銀行のキャッシュカードでJAのATMはご利用できません。
 5. 稼働時間はATMにより異なります。詳しくはJA窓口またはご利用ATMの掲示等でご確認ください。

主な事業の内容

◇ 信用手数料一覧 ◇

【振込手数料（1件当り）】

| お取扱区分 | 振込金額 | 手数料 | | | |
|----------------|-------|-------|-------|--------------|---|
| | | 窓口 | A T M | ネット バンキング | |
| 当 J A 本支店あて | 3万円未満 | 330円 | 無料 | 無料 | |
| | 3万円以上 | 550円 | | | |
| 県内 J A あて | 電信扱い | 3万円未満 | 110円 | 110円 | |
| | | 3万円以上 | 550円 | 220円 | |
| | 文書扱い | 3万円未満 | 330円 | — | — |
| | | 3万円以上 | 550円 | — | — |
| 系統県外 金融機関あて | 電信扱い | 3万円未満 | 110円 | 110円 | |
| | | 3万円以上 | 660円 | 220円 | |
| | 文書扱い | 3万円未満 | 600円 | — | — |
| | | 3万円以上 | 770円 | — | — |
| その他 金融機関あて | 電信扱い | 3万円未満 | 380円 | 270円 | |
| | | 3万円以上 | 770円 | 440円 | |
| | 文書扱い | 3万円未満 | 600円 | — | — |
| | | 3万円以上 | 770円 | — | — |

【送金手数料（1件当り）】

| お取扱区分 | 手数料 |
|-----------------|------|
| 当 J A 本支店あて | 無 料 |
| 当 J A 以外の金融機関あて | 660円 |

【発行手数料】

| お取扱区分 | 手数料 |
|------------------|--------|
| J A カード（一体型）（1枚） | 660円 |
| 通帳（1冊） | 1,100円 |
| 証書、契約の証（1通） | |
| I C キャッシュカード（1枚） | |
| キャッシュカード（1枚） | 440円 |
| 残高証明書等の各種証明書（1通） | |

【両替手数料】

| お取扱区分 | 手数料 |
|------------------|--------|
| 1枚 ～ 50枚 | 無 料 |
| 51枚 ～ 100枚 | 220円 |
| 101枚 ～ 500枚 | 440円 |
| 501枚 ～ 1,000枚 | 550円 |
| 1,001枚 ～ 2,000枚 | 770円 |
| 2,001枚 ～ 3,000枚 | 1,100円 |
| 3,001枚 ～ 4,000枚 | 1,430円 |
| 4,001枚 ～ 5,000枚 | 1,760円 |
| 5,001枚 ～ 6,000枚 | 2,200円 |
| 以降、1000枚毎に550円追加 | |

【代金取立手数料（1件当り）】

| お取扱区分 | 手数料 | |
|----------------|------|------|
| 県内 J A あて | 普通扱い | 440円 |
| | 至急扱い | |
| 系統県外 金融機関あて | 普通扱い | 660円 |
| | 至急扱い | 880円 |
| その他 金融機関あて | 普通扱い | 660円 |
| | 至急扱い | 880円 |

主な事業の内容

【入出金手数料】

| お取扱区分 | 手数料 |
|------------------|------|
| 1枚 ～ 300枚 | 無料 |
| 301枚 ～ 500枚 | 220円 |
| 501枚 ～ 1,000枚 | 330円 |
| 1,001枚 ～ 2,000枚 | 660円 |
| 2,001枚 ～ 3,000枚 | 990円 |
| 以降、1000枚毎に330円追加 | |

【その他諸手数料（1件当り）】

| お取扱区分 | 手数料 |
|----------|------|
| 送金・振込組戻料 | 660円 |
| 不渡手形返却料 | |
| 取立手形組戻料 | |

【未利用口座手数料】

| お取扱区分 | 手数料 |
|---------------------------|--------|
| 1口座につき年額 (残高10,000円未満) | 1,320円 |

(注) 令和3年10月1日以降に開設された、最終取引日から2年経過した口座(普通貯金・貯蓄貯金)が対象。

【電子交換所手数料（1通につき）】

| お取扱区分 | 手数料 |
|------------|--------|
| 期近、先日付、当日扱 | 1,100円 |
| 取立手形組戻料 | 660円 |
| 不渡手形返却料 | 660円 |

【貸付金関係手数料】

| | | |
|-------------------------|-------------|------------|
| 契約事務手数料 | | 手数料 |
| 住宅ローン新規契約 | 借入契約1件につき | 22,000円 |
| 繰上返済 | | 手数料 |
| 住宅ローン全額繰上返済 | 繰上申込毎1件につき | 11,000円 |
| 住宅ローン一部繰上返済 | | 5,500円 |
| 住宅ローン金利特約手数料 | | 手数料 |
| 住宅ローン金利特約再設定 | 特約再設定毎1件につき | 5,500円 |
| 保証申込 | | 手数料 |
| 住宅ローン保証料(青森県農業信用基金協会) | 借入契約1件につき | 20,000円 |
| 住宅ローン保証料(協同住宅ローン(株)) | | 33,000円 |
| 保証繰上返済 | | 手数料 |
| 住宅ローン全額繰上返済(協同住宅ローン(株)) | 繰上申込毎1件につき | 11,000円 |
| 住宅ローン一部繰上返済(協同住宅ローン(株)) | | 5,500円 |

主な事業の内容

(共済事業)

J A共済は、J Aが行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆様の生命・財産を守る「ひと・いえ・くるま・農業」の各種共済による総合保障を展開しています。

【主な共済商品の内容】

| 種 類 | 共済期間 | | サービス内容や特徴 |
|-------------------|---|--------|---|
| 終 身 共 済 | 一 生 涯 | | 万一のときはもちろん、ニーズにあわせた特約により病気やケガなどへの備えも自由に設計ができる確かな生涯保障プランです。 |
| 養 老 生 命 共 済 | 年満期 | 5～30年 | 万一の保障と将来の資金づくりの両立、また、ニーズにあわせた特約により病気やケガなどへの備えも自由に設計ができるプランです。 |
| | 歳満期 | 50～88歳 | |
| 医 療 共 済 | 一定期間 一 生 涯 | | 病気やケガによる入院・手術を一定期間または一生にわたって手厚く保障します。特約でがん入院の保障を手厚くしたり、特約で一定期間の万一保障を確保することもできます。 |
| が ん 共 済 | 80歳満了 一 生 涯 | | がんと闘うための安心を80歳満了または一生にわたって手厚く保障します。すべてのがんのほか、脳腫瘍も対象としています。 |
| 介 護 共 済 | 一 生 涯 | | 公的介護保険制度と連動して幅広い要介護状態（要介護2～5）等、介護の不安に一生備えられる保障です。 |
| 生 活 障 害 共 済 | 50歳～80歳満了 | | 身体障害者手帳制度（公的制度）に連動したわかりやすい保障で、病気やケガにより身体の障害が残るときに不足する生活費や治療費に継続的に備えるための共済です。 |
| 特 定 重 度 疾 病 共 済 | 0歳～80歳満了 | | 三大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）に加えて「心・血管疾患」や「脳血管疾患」「その他の生活習慣病」まで幅広く保障し、継続的な治療による様々な経済負担に備えるための共済です。 |
| 認 知 症 共 済 | 一 生 涯 | | 認知症を発症した際の経済的負担に備えるとともに、認知症の前段階である軽度認知障害まで幅広く保障する共済です。 |
| 定 期 生 命 共 済 | 期間満了 | 5～15年 | ライフプランに合わせて必要な期間や保障金額を逡減させることにより、お手頃な共済掛金で万一保障をしっかりと準備できます。 |
| | 歳満期 | 50～99歳 | |
| 年 金 共 済 | 一定期間 一 生 涯 | | 老後の生活資金が積立感覚で準備できるプランです。医師の診査は必要なく、簡単な手続きでご加入できます。また、最低保証利率が設定されているので安心です。 |
| こ だ も 共 済 | 0～22歳 | | お子様の入学資金や結婚・独立資金の準備に最適なプランです。共済契約者（親）が万一のときは、満期まで毎年養育年金を受け取れるプランもあります。 |
| 建 物 更 生 共 済 | 5～30年 | | 火災はもちろん、地震や台風などの自然災害も幅広く保障します。また、満期共済金は、建物の新築・増改築や家財の買替資金としてご活用いただけます。 |
| 自 動 車 共 済 | 相手方への対人・対物賠償をはじめ、ご自身・ご家族などの傷害保障、車両保障など、万一の自動車事故を幅広く保障します。 | | |
| 自 賠 責 共 済 | 法律ですべての自動車に加入が義務付けられている、人身事故の被害者保護のための保障です。 | | |
| 傷 害 共 済 | 日常のさまざまな災害による万一のときやケガを保障します。 | | |
| 火 災 共 済 | 住まいの火災損害を保障します。 | | |
| 農 業 者 賠 償 責 任 共 済 | 農業において発生するさまざまな賠償リスクを幅広く保障します。 | | |

(指導事業)

おいしく安全性の高い農産物（りんご・お米・やさいなど）を栽培していただくために、アドバイスや相談を受けております。また、皆様の暮らしと健康を守るため、各種健康診断や、高齢者福祉活動を行っています。

主な事業の内容

（購買事業）

農業に必要な肥料・農薬・飼料などの生産資材や、暮らしに必要な食品・日用品などの生活資材を供給しています。また、農機具・自動車の販売、給油スタンドも行っています。

（販売事業）

出荷者の皆様が栽培した農産物(りんご・お米・やさいなど)や、畜産物の集荷・販売を行っています。

（直販・利用事業）

会員の皆様が栽培したやさい・果実を、4店舗の直売所にて販売しています。また、育苗施設では優良・均質なやさい苗を供給しています。

● 系統セーフティネット（貯金者保護の取り組み）

当JAの貯金については、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との2重のセーフティネットで守られています。

◇ 「JAバンクシステム」の仕組み ◇

組合員・利用者から一層信頼され利用される信用事業を確立するために、「再編強化法（農林中央金庫及び特定農林水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）」に則り、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）総意のもと「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を生かした金融サービスの提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の2つの柱で成り立っています。

◇ 「破綻未然防止システム」の機能 ◇

「破綻未然防止システム」は、JAバンクの健全性を確保し、JA等の経営破綻を未然に防止するためのJAバンク独自の制度です。具体的には、（1）個々のJA等の経営状況についてチェック（モニタリング）を行い、問題点を早期に発見、（2）経営破綻に至らないよう、早め早めに経営改善等を実施、（3）全国のJAバンクが拠出した「JAバンク支援基金※」等を活用し、個々のJAの経営健全性維持のために必要な資本注入などの支援を行います。

※2022年3月末における残高は1,652億円となっています。

◇ 「一体的な事業運営」の実施 ◇

良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業運営の取り組みをしています。

◇ 貯金保険制度 ◇

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

なお、この制度を運営する貯金保険機構（農水産業協同組合貯金保険機構）の責任準備金残高は、2022年3月末現在で4,627億円となっています。